

令和4年度

国臨協関信支部
神奈川地区会
会報誌
第72号



令和5年7月発行

会長挨拶

『色素色と構造色』

関信支部神奈川地区会長

NHO 箱根病院 若林 弘



以前、自然が作り出す「色のフシギ」というコラムを読んだ。

人間が認識できる可視光線の波長域が狭いことに繋げて、『人間は「百聞は一見にしかず」なんて言っているが、自然界全体で考えると、本当はごくごく狭いスリットを通して世界を垣間見ているに過ぎない』とまとめていた。

人間という種別のくくり、人それぞれ、同じ人であっても時間や精神状態などの条件によってスリットが変わり見方が変わる……と勝手に頷きながら読んだが、このなかで、光るような鮮やかな青で有名なブラジルのモルファ蝶の翅の色は、

翅そのものの素材による「色素色」ではなく、翅が持っている構造によって作られる『構造色』であるとの件があり、私にとって耳慣れなかった『構造色』という言葉が引っかかり少し調べてみた。

人間は 160 程度の色調の差を感じとれるが、色として認識できている光は波長 380~780nm (紫・青~赤) 範囲だけで、その外側にある紫外線も赤外線も認識出来ない事はご存じと思う。この人間が、識別可能な色調の違いを、網膜表面にシート状に並んでいる光受容体細胞：視細胞の 1 つ 1 つが弁別することで、対象の色、形の判別に繋げるのが視覚情報ということになる。

ところで、色を keyword で検索すると出てくる色素とは、可視領域の波長を吸収する物質のことで、その色素が何色であるかは、その物質が吸収せずに反射した波長(余色)が視細胞に受容されることで決まる。色素色とは、その物質そのものが持つ色で、見る角度で変わることはないが、素材が紫外線等で劣化、変化すると変色、脱色するようだ。

それでは、構造色である。構造物を構成している素材の色ではなく、構造に起因した光の波長あるいはそれ以下の微細構造による分光に起因して作られる色のことで、その色調は分光した光のうち、通過・吸収されないで反射する波長によって決まる。構造色を発色させる構造としては、膜(シャボン玉、玉虫など)、微細な溝や突起(モルフォ蝶、孔雀など)、微粒子(青空、夕焼けなど)などある。構造色の特徴は、見る角度によって反射する波長が変わるために色彩が変化すること、色素のように紫外線等による(構造が壊れなければ)変色、脱色が無いことがある。

私は、色素色と構造色の関係を、個々人の個性(色素色)と、組織・体制の持つ機能(構造色)に擬えられると感じた。我々が一緒に仕事をしている仲間達は、それぞれ様々な能力を持ち鮮やかな発色をしている。日々感じているのは、個々の能力の高さ、分野別エキスパートとしての発色の強さである。この個々人を集め纏めて、鮮やかな色彩を発色し続けられる組織・体制を作る役割を担う事を期待されているのが、各部門の主任であり副技師長・技師長、病院長ではないか。地区会長もしかり。

コロナ後の New Normal の中、色鮮やかな構造色を発色できる組織(地区会)として機能することを求められていると考えているのだが…。

新会員の挨拶

NHO 相模原病院

「自己紹介」

NHO 相模原病院

池田 和典



この度、4月1日付けで国立病院機構相模原病院 副臨床検査技師長に配置換えで着任しました池田和典と申します。どうぞよろしくお願いいたします。簡単に自己紹介をさせていただきます。私は東京下町生まれ、つくば市育ちです。今回の移動で5施設目になり、神奈川地区会は初入会になります。

趣味は昭和49年製の旧車ででのツーリングです。旧車は現代車には動力性能も環境性能も比較にならないくらい劣りますが、運転する楽しみがあります。たまに故障もしますが、旧車仲間が手を尽くし部品を調達して修理してくれます。同じ趣味の仲間と情報交換をする時間も楽しいものです。環境のため電気自動車に

乗り換える人も多くいますが内部燃料車を長く乗ることもエコであると旧車クラブの仲間と笑談ながらツーリングを楽しんでいます。

また、幼馴染たちとコロナ禍に体力増進と気分転換を目的に初めた山登りに4年目となり老後の良い趣味になりそうです。今年は武尊山に挑戦したいと思っています。山登りは五感を刺激され心をも解放するような非日常空間を得られるとあります。すれ違う見知らぬ人との挨拶は山登りのルールであり他者の体調や体力をも気遣うちょっとした声掛けも人の温かさを強く感じる機会があり、これも魅力の一つでもあります。

コロナ禍の生活は、働きのあり方や業務の効率化、感染予防対策、人々とのコミュニケーション方法などについて多くを考えることができ、多くを学ぶ機会にあふれ、新しいことを始め自分自身が成長する機会になりました。

今回の異動で、少人数の施設の沼田病院から大人数の相模原病院に配置替えとなり、戸惑うことも多々ありますが、チャレンジ精神と多くの仲間の協力を得ながら臨床検査業務に励んでいこうと考えています。まだまだ若輩者ではありますが皆さまどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

油断のできないコロナ禍が続きますが、神奈川地区会の皆様と直接お会いして語り合うことを楽しみにしています。



「自己紹介」

NHO 相模原病院 朝比奈 大輔



令和5年4月1日付で国立国際医療研究センター病院よりNHO相模原病院へ配置換えで着任いたしました朝比奈大輔（あさひなだいすけ）と申します。病理検査を担当しております。

私が今まで勤務した施設は国立がん研究センター中央病院、国立国際医療研究センター病院であり、今回2回目の転勤となります。

非常勤職員の頃より病理検査に携わらせていただき、気が付けば17年も病理を続けさせていただいております。今まで培ってきた経験や知識を存分に発揮し、病理診断科の品質向上とリスク低減に努めてまいりたい

と思います。

着任して早々にシステム更新があり、医療安全の観点から相模原病院にもカセットプリンターとフロストプリンターが導入されました。本当にありがたい限りです。

さて、私事です。趣味は料理です。平日はなかなか料理する時間を得られないため、残念ながら週末のみですが、ストレス発散の意味も込め、何かしら料理をしております。中でも煮込み料理や各種パスタが好きでよく作ります。特に私の作る明太子パスタは、妻からの評判もよく、「今際の際に食べたい」と称賛を受けています。もともと幼少期より「何かを作る」という工程が好きであり、そういった意味では病理標本の作製も「作る」に含まれますので、うまく趣味と仕事が当てはまり嬉しく思います。

最後になりますが、まだまだ未熟な身であるため、新しい知識はもちろん、担当外の知識も常に吸収していきたいと思っております。神奈川県地区会の皆様、どうぞご指導のほどよろしく願いいたします。

「自己紹介」

NHO 相模原病院 川口 港



令和5年4月1日付で国際医療研究センター病院から相模原病院に配置換えで参りました川口 港（かわぐち みなと）と申します。

現在は生理検査を担当しています。私が今まで勤務した施設は国立精神・神経医療研究センター病院、国立国際医療研究センター病院で、相模原病院は3施設目になります。生まれも育ちも相模原市で、青春時代を過ごした場所にふたたび戻ってくることができ、嬉しく思います。

当院の生理検査室は超音波検査件数が多く、症例にも恵まれていると感じており、資格取得や学会発表に積極的に取り組む検査室を構築していきたいと思っております。

趣味は音楽が好きで、高校時代から20代半ば頃までは八王子や町田を中心にバンド活動を行っていました。30代ではロードバイクに熱中し、レースにも参戦していました。

新型コロナウイルスも5類となり病院内や世間も大きく変化していく年になると思いますが、柔軟に対応し検査室の発展に貢献していきたいと思っております。

神奈川県地区会の皆さま、今後ともよろしく願い申し上げます。

「自己紹介」

NHO 相模原病院 伊藤 大樹



初めまして、今年度から採用となりました伊藤大樹です。現在は検体検査室での業務についています。

昨年度まで、国立がん研究センター東病院の非常勤職員として、2年間採血室での業務に携わりました。東病院では看護師が主に採血をしており、採血の手技や患者への接遇は看護師の方から学びました。

出身校は東京電子専門学校ですが、大学を出た後就職し、その後専門学校に入って検査技師の資格を取ったため、人より遅いスタートとなりました。

実務経験はありませんが、大学で救急救命士の資格を取得しました。

元は消防士を目指していましたが、大学を卒業後警察官になり、1年勤めました。警察官として働いていく中で、やはり医療の道に進みたい、大学で取得した資格を活かしたいという思いが強くなり、退職してから再び就職活動を始めました。警察を退職して2年、なかなか就職が決まらず消防士以外の道を模索していく中で、縁あって検査技師を志すことになりました。

救命士から検査技師を志した理由は、静脈路確保(採血)や心電図など一部の手技が活かそうだったのと、臨床の現場で、病気の早期発見、治療に貢献する仕事に従事してみたいと考えたからです。

これから知識と技術を向上し、国立病院機構検査技師の一員として精進していくことが抱負です。

よろしくお願い致します。

「自己紹介」

NHO 相模原病院 下山夢結



令和5年4月1日付で相模原病院に採用になりました下山夢結（しもやまゆめか）と申します。

高校まで埼玉県本庄市で育ち、大学は群馬県高崎市に実家から通っていました。現在は、病院の近くで一人暮らしをしています。初めての一人暮らし、見知らぬ土地ということもあり、戸惑うこともありますが、新しい発見をしながら頑張っています。

体を動かすことが好きで、高校生の時はバトミントン部、大学生の時はフットサルサークルとバトミントンサークルに所属していました。今は、休日にウォーキングをしてリフレッシュしています。相模原には緑が多く、公園も多いためウォーキングに適しているなと感じています。

また、旅行が好きで大学生の時は伊香保温泉や草津温泉などに行っていました。新型コロナウイルスの流行により、地元から遠いところへの旅行は行けなかったもので、機会があったら箱根や鎌倉など様々な観光名所に行ってみたいなと思っています。おすすめの観光名所があったら教えてください。

相模原病院では、生理機能検査に配属となりました。まだまだ未熟でご迷惑をお掛けしてしまうこともありますが、目の前の業務をひとつひとつ真剣に取り組み、早く業務を覚えたいと思います。これからも努力してまいりますので、皆様ご指導のほどよろしくお願い致します。

「自己紹介」

NHO 相模原病院

長浜 優衣



令和5年4月1日付で相模原病院へ採用になりました、長浜 優衣(ながはま ゆうい)と申します。

出身は神奈川県茅ヶ崎市で、自宅から20分の距離に海があり、休日は犬の散歩でよく海にいきます。

小学生から陸上をやっていたこともあり、走ることに観戦することが好きです。休日に海や近くの公園に走りに行ったり、ドックランで犬と走ったりしています。

陸上の中でも、駅伝を観戦することが特に好きで、一年の中で1月2、3日を一番楽しみにしています。茅ヶ崎市に住んでいることもあり、新型コロナウイルスが蔓延する前は、お正月に箱根駅伝を観戦しに行ったりもしていました。いつか、箱根駅伝のコースを実際に走ってみたいです。

相模原病院では生理検査の業務を担当しています。生理検査の業務を行ってみると、患者さんに検査の検査説明をし、素早く検査をする難しさを日々実感しています。

分からないことも多く、まだ一人で担当している業務も少ないですが、早く一人前になれるように努力していきたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



NHO 横浜医療センター

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 磯 敬



この度、令和5年4月1日付の人事異動で、新潟病院から横浜医療センターに配置換えとなりました、磯 敬です。

これまでの勤務地は下志津病院、水戸医療センター、新潟病院など自然豊かな地域での勤務が多かったのですが、横浜医療センターに転勤と聞いた時は、憧れていた都会の病院で勤務できるうれしさと、横浜を拠点とする2交代制勤務のとても忙しい病院と伺っており緊張感や不安でいっぱいでした。着任してから1か月が経ち、技師長をはじめスタッフの方々にいろいろと支えてもらいながら、仕事も横浜での生活もだいぶ慣れてまいりました。

この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

私は茨城県水戸市出身です。趣味は、野球観戦とドライブ、鉄道での旅です。今年の3月、日本中がWBCで大いに盛り上がった中、セ・パ両リーグのプロ野球は開幕いたしました。私は、「広島カープ」の大ファンで今シーズンから声出し応援が解禁され、カープ名物のスクワット応援を久しぶりにテレビで観たとき、うれしさのあまり涙が溢れてきました。休日はテレビで観戦していますが、せっかく横浜に来たのだから横浜ベイスターズの本拠地である横浜スタジアムに行ってお観戦したいと思っております。

また、神奈川県は江の島・鎌倉・箱根・横浜中華街などたくさんの観光地があるので、あちこちをドライブや、江ノ電・箱根登山鉄道に乗りぶらり旅して、温泉やおいしいグルメをたくさん堪能しようと考えております。

さて、新型コロナもようやく感染者が減少し令和5年5月8日からは5類感染症へ引き下げられようとしております。ようやく私生活も不安から解消され、集合型の学会や研修会も増えてきております。感染対策には注意しながらではございますが、今年の神奈川地区交流会では、是非とも神奈川地区会員の皆様と交流できることを楽しみにしております。

最後になりましたが、神奈川地区会員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 竹内 智也



令和5年4月より横浜医療センターに配置換えで参りました、竹内智也と申します。

私は水戸医療センターで採用になり8年間勤め、その後、主任として久里浜医療センターに5年間、続いて東京医療センターにて3年間勤務いたしました。そしてこの度、横浜医療センターに配置換えになり、神奈川県会には4年振りの復帰ということになりました。業務は生化学・免疫血清検査を担当しており、周りのスタッフの助けもあって徐々にですが業務に慣れてきたところで

す。これから少しでも貢献できるよう、いっそう精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。趣味はサッカー観戦と釣りです。サッカー観戦は川崎フロンターレを応援していて、以前はよくホームグラウンドである等々力競技場に足をはこんでいましたが、最近はテレビ観戦ばかりになってしまいました。釣りは水戸医療センター時代に始めた趣味で、バスフィッシングを主に楽しんでいます。神奈川県にも釣り場がいくつかあるので、新しい釣り場を開拓してみようかと考えています。最後になりますが、コロナ禍も少しずつ落ち着いてきていますので、神奈川県会のイベント等があれば是非参加して会員の皆様と交流できる日を楽しみにしています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 木村 元紀



令和5年4月1日付で水戸医療センターより横浜医療センターへ昇任で参りました木村元紀と申します。現在は検体検査(主に血液、一般)部門を担当しています。慣れない主任業務に四苦八苦しておりますが、良きスタッフのサポートもあり少しずつ慣れてきました。趣味はソフトボール、ゴルフ、スノーボー、釣り、音楽鑑賞、お酒を飲むことです。

学生時代からソフトボールをしています。ポジションは投手です。投手といえばカッコよく聞こえるのですが打てない、走れないとい

うピッチング以外はダメなピッチャーです。

水戸にいた時もソフトボールチームに所属していましたので横浜でもどこかのチームに入りたいなと思っています。投げることしかできませんがチームに入れてくれる方いましたら連絡もらえると嬉しいです。ゴルフやスノーボー、音楽鑑賞も好きで夏はゴルフと夏フェス、冬はスノーボーを楽しんでいます。水戸に住んでいたこともあり、ひたち海浜公園で行われていたロックインジャパンに友人達と参加していました。人と集まって何かをするのが大好きで水戸にいた頃はスタッフを自宅に呼んで料理を作って飲んだり、バーベキューをしたり周りを巻き込んで飲み会をしていました。付き合ってくれた水戸の仲間感謝しています。近年では、コロナの関係もあり集まるのが難しかったのですが集まると嬉しいです。最後になりますが、神奈川県会の皆さま、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 秋山 卓思



この度、栃木医療センターから横浜医療センターに配置換えでまいりました、秋山と申します。今回初めての異動となり、前施設とのギャップを感じながら着任して早一ヶ月が経ち、徐々に新しい職場環境に慣れてきたところでもあります。横浜医療センターでも楽しく仕事が出来たら良いなと思いながら過ごしています。

生活面につきましても、移住して落ち着きだしたところで、そろそろ神奈川県内を探索してみようと思っています。

栃木県では、那須・日光によく遊びに行っておりました。スノーボードやグランピング、SUP、牧場や動物園など自然豊かなところをよく訪れていました。新しく横浜に移住して、みなとみらい、箱根、鎌倉・江の島など有名所へまずは探索してみようと思っています。また、私は外食でラーメンをよく食べに行くのですが、神奈川県で有名なラーメン屋さんがあれば、食べに行ってみたいと思っています。どこかお勧めのお店がございましたら、是非教えていただけたら嬉しいです。

このような私ではございますが、神奈川地区会の皆様どうぞよろしくお願い致します。

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 江崎 美穂



はじめまして。令和4年9月1日より横浜医療センターに採用となりました、江崎美穂と申します。よろしくお願ひします。以前は、地元の総合病院で3年間勤務しており、今回初めて国立病院機構に入職いたしました。

簡単にですが、自己紹介をさせていただきます。私の出身は埼玉県です。埼玉県といっても栃木県や茨城県に近く、周りに田んぼや畑が多くある、のんびりしたところです。家の近所には大きな公園があり、よく散歩に行ったりフレッシュしていました。実家近くの有名な場所と言えば、ホワイトタイガーがいる東武動物公園や、桜の名所である権現堂などでしょうか。どちら

も神奈川県からは少し遠いですが、機会がありましたら是非足を運んでみてください。

現在は、横浜医療センターに配属になったため、初めての一人暮らし中です。実家のありがたみを痛感するとともに、一人暮らしの悠々自適さも感じております。一人が寂しいのと、実家にいるペットのハムスターに会いたくて、最初の頃は頻繁に帰っていましたが、最近ようやく慣れてきて横浜駅や鎌倉へ遊びに行ったり、買い物をして過ごすようになりました。海なし県で育った身としては、家から少し行けば海が見える今の環境がとても嬉しいです。寝るのが好きなので、家から出ずに一日が終わってしまうこともありますが、積極的に出かけて自分のお気に入りスポットなどを探したいなと思います。

仕事に関しましては、生理検査室でエコーや心電図検査を行なっています。以前の病院でも生理検査室で働いていたので、共通する部分もありますが、まだまだ覚えなくてはいけない事も多く、周りの方々に助けを頂きながら日々過ごしております。一日でも早く、先輩方に追いつき、患者様により良い検査を提供できるよう精進していきたいです。神奈川地区会の皆様におかれましても、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

NHO 神奈川病院

「自己紹介」

NHO 神奈川病院 瀬戸 茂誉



この度、4月1日付の人事異動で栃木県宇都宮市にある栃木医療センターより臨床検査技師長として昇任で神奈川病院に参りました、瀬戸茂誉（せとしげたか）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

職歴は国立国際医療センター（現国立国際医療研究センター）に賃金職員で採用され、神奈川病院で職員採用、西埼玉中央病院に異動し、昇任で東京医療センター、昇任で栃木医療センター、昇任で2度目の神奈川病院となります。

栃木県では初めて単身赴任を経験し自炊して節制していたのですが、久しぶりの自宅からの通勤となり食事は出された物を食べて楽な生活をしていたら体重が4kgも太ってしまいました。このままではいけないと運動不足解消と減量を誓い、最近食事面の改善（朝と夜は炭水化物抜き）と一つ前の駅で下車して少しでも歩くようにしております。以前の体重に戻るにはまだまだかかりそうですが、頑張っってダイエットしていきたいと思ひます。

神奈川病院は職歴にもあるように今回の赴任で2回目となり、2007年3月までお世話になりました。月日が経つと大分環境が変わっていました。紙カルテが電子カルテに変更され、重心病棟が建て替えられ、更には一般病棟も建て替えられていました。当時の病棟の古い建物は雨漏りがする大変古い病棟だったのですが、立派な建物に変わっていて大変驚きました。検査科の建物は残念ながら以前と何ら変わりはありませんでした（今のところ検査科内での雨漏りは経験していません）。

この原稿を書く5月からは皆様ご存知の通り、新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下がります。感染者への入院勧告や、感染者や濃厚接触者の外出制限、屋内で着用を推奨されてきたマスクの着用も個人の判断に任されるようになり、徐々にではありますが元の生活に戻りつつあります。

感染状況にもよるかとは思ひますが、今後レクレーションや地区会などで会員皆様とお会いできると信じております。改めまして、神奈川地区会の皆様これからどうぞよろしくお願いいたします。



「自己紹介」

NHO 神奈川病院 青木 正哉



この度、4月1日付で国立多磨全生園から配置換えにより神奈川病院にお世話になることになりました青木正哉と申します。これまで東京3施設、千葉2施設を経験してまいりましたが神奈川県は9年前の相模原病院からの2施設目となります。ここ神奈川病院は施設の周囲は自然豊かであり、これまで東京、千葉の田舎？の施設も経験し、いろいろな動物にも遭遇してきましたが、赴任初日にいきなり野生鹿の出迎えを受けてチョットびっくりしました（敷地内に鹿の群れが生息しています！）。また自分の趣味は若いころ（20代）からトライアスロンを楽しんでおりますが、神奈川県は各地でトライアスロン大会が多く開催されており、今からワクワクしております（ご興味のある方はご一報ください！）。

仕事に関しましては技師経験の多くを病理・細胞診業務に携わってまいりましたが、神奈川病院では生化学、免疫、血液と新たな業務を経験させていただけることとなり、毎日固くなった脳みそをフル回転して職務に当たっております。

ここ数年間はコロナの影響により対面式の地区会活動ができない状態が続いておりますが、今後、対面式の神奈川地区会が開催され、皆様とお会いできる機会がありましたら是非お声がけください。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

NHO箱根病院

「自己紹介」

NHO 箱根病院 早川 真奈美



令和5年4月1日付けで箱根病院に配置換えで参りました早川真奈美と申します。

箱根病院への転任に伴い埼玉県さいたま市から転居し、小田原市民になり一か月が経ちました。2月の内示の日より一か月と少し「箱根」というワードから創造を膨らませて、箱根病院に来られることを楽しみにしていました。実際に4月に着任してみると想像以上に自然豊かな場所、そして想像以上にアットホームな職場でした。患者さんに「新しい人ね」と声をかけていただきお話する機会も多々あり、楽しみながら仕事をさせてもらっています。

箱根病院の検査科は3人体制なため検体検査、生理機能検査など様々な検査に携わる必要があり、現在は技師長と主任からたくさんの方の事を教えて頂き刺激的な毎日を過ごしています。

病院周囲には山、川、海があり自然に囲まれているところがとても気に入っています。近所には野菜の直売所や無人販売がたくさんあり、料理が趣味の私は近所で買った筍や珍しい野菜、小田原漁港で買った魚を料理するのが日々の楽しみとなりました。

休日は箱根湯本や大涌谷へも足を伸ばし神奈川県民ライフを楽しんでいます。神奈川地区会の皆様方、これからどうぞよろしく願い申し上げます。

施設のトピックス

NHO 相模原病院

NHO 相模原病院 品田祐希

国立病院機構相模原病院は、リウマチ・アレルギー疾患に関する診療・臨床研究の基幹施設として位置づけられています。当院は昭和 51 年に国立病院初の臨床研究部が組織され、平成 12 年に臨床研究センターに改組されました。臨床研究センターでは、診療部各科との連携の下、各種疫学調査研究、診断・治療法の開発、花粉・カビなどのアレルギーモニタリングと各種関連情報に加え、得られた研究結果を国内外の学会・論文で情報発信しています。この臨床研究センターの特徴の 1 つは、新規研究の成果がすぐに日常診療に活かすことができるということです。食物アレルギー、薬物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎・花粉症、アトピー性皮膚炎、その他の稀なアレルギー疾患及び関節リウマチや膠原病等においても種々の検査を実施し、適切な治療法を確立しています。また、地域医療支援病院として専門的な医療を提供する総合医療施設でもあります。一般総合診療のほか、一般医療機関では対応困難な急性期医療、専門医療の提供を地域の医療機関と連携・協力して行っており、相模原市の二次救急医療輪番体制にも対応しています。

さて、当院の臨床検査科・生理機能検査室は現在 9 名の人員で構成されています。心電図や肺機能検査、脳波検査等、他院でも行われている生理検査に加え、超音波検査に関しては腹部、心臓、体表、血管、産科と様々な領域で細分化されたオーダーがあります。また前述の通り、アレルギー疾患の基点病院にもなっているため、肺機能検査に関しては専門の技師を配属し精密な検査を行っております。コロナ禍では検査件数は減少したものの、他院と比べても検査件数は多く臨床現場と密接に関わっております。

当検査室は他部門に比べて患者様と密接する検査が多くありますが、常に感染防止対策を徹底していたため、クラスターは一度も発生しませんでした。

今年度は主任 1 名、新人技師 2 名が新たに加わりました。バックアップ体制をしっかりとしつつ、新人技師の育成を行い、より良い職場環境を作っていくよう、臨床検査科の一員として相模原病院の生理検査を担い、迅速で的確な検査結果が出せるよう邁進していきたいと思っております。



NHO 横浜医療センター

NHO 横浜医療センター 小林 真二

当院は 2023 年 1 月 7 日から 9 日にかけて、検体検査一元管理単価契約の更新に伴い検体検査機器および部門システム（検体検査、細菌検査、感染管理、輸血検査・製剤管理）の更新作業を行いました。

検体検査の更新機器の詳細は、全自動生化学分析装置（Labospect008α 2 台）、全自動免疫測定装置（Alinity2 台、Cobas-e411 1 台）、全自動血球分析装置（XR-3000 2 台）、全自動血液凝固測定装置（CN-6000 2 台）、尿中有形成成分分析装置（UF-5000 1 台）、全自動尿分析装置（AUTIONMAX AX-4061 2 台）、半自動尿分析装置（Aution IDaten 1 台）、血中アンモニア測定専用装置（ドライケム NX10N 2 台）、血液ガス分析装置（RAPIDPoint500e 2 台）、全自動糖分析装置（GA09II α 1 台）、自動グリコヘモグロビン分析計（HLC-723G11 1 台）、分析前工程総合管理モジュール（MPAM+）になります。

今回の機器更新で分析前工程総合管理モジュールを導入したことで、以前は手作業で行っていた外注検査やスタンドアロン機器への分注作業、追加検査等による検体のピックアップ作業、検査終了後の閉栓作業が自動で行われることにより技師の業務負担軽減と TAT の短縮が認められました。

また、外来採血室の採血採尿受付システム、採血業務支援システム及び自動採血管準備装置の入れ替えも行なったほか、2022 年度より検査科全体で外来採血業務（月曜～金曜 8:00～10:30 まで）を担うことで、外来採血待ち時間の短縮及び看護職員の負担軽減に寄与しています。



NHO 神奈川病院

NHO 神奈川病院 加山 新菜

当院の特徴である、結核病棟と重症心身障害児病棟についてご紹介したいと思います。

まずは、結核病棟です。昭和 14 年に 500 床を有する結核療養所として結核病棟の運用が開始されました。昭和 20 年代まで結核は日本人の死亡原因の第 1 位であり、その高い死亡率や感染力の強さから「不治の病」などと呼ばれて恐れられていました。第二次世界大戦後からは治療薬や予防接種の普及、生活水準の向上などにより、結核による死亡率は激減していきました。それに伴い、当院の病床数も徐々に縮減していき、平成 17 年には 50 床、令和 3 年には 30 床となりました。私が担当している生理検査室では、主に入院時の心電図検査、退院時の肺機能検査を行っています。心電図検査では、患者さんは徒歩や車いす、寝たきりの方はベッドで生理検査室に来てもらい検査を行います。また、退院時の肺機能検査は、結核病棟内に専用の機器があるため、病棟内の一室で検査を行っています。外国人で日本語が通じない方には検査方法を伝えることが難しいですが、ジェスチャーや絵を書いて少しでもわかりやすくなるよう工夫をしています。

次は、重症心身障害児病棟です。児童福祉法で、重症心身障害児施設は、重度の知的障害および重度の肢体不自由が重複している児童を入所させて、これを保護するとともに、治療および日常の生活指導をすることを目的としている施設とする、とあります。さらに、児童福祉法の対象から外れる満 18 歳以上の者について、その者を重症心身障害児施設に入所させ、または指定医療機関に対し、その者を入院させて治療等を行うことを委託することができる、とあります。当院は指定医療機関として委託を受けている病院になります。昭和 47 年から病棟の運用が開始され、現在は 120 床あります。生理検査室では、定期健診の心電図検査や脳波検査を行っています。心電図検査では胸部誘導の位置、脳波検査では頭につける電極の位置が教科書通りにはならないことが多いです。また、心電図検査では電極をつけて記録しようとしたところ、電極をすべて外されてしまったことや、脳波検査では薬剤を使用し入眠してから検査を行っていますが、電極装着中に起きてしまい、そのまま電極がつけられなくなり検査中止になることも多々あります。このように難しさもありますが、一人一人の体の状態を考えて、工夫をしながら日々検査を行っています。

次回、地区会報誌で施設トピックスを書く場合は、検体検査や細菌検査など他の検査室についてもご紹介できればと思います。



NHO 久里浜医療センター

NHO 久里浜医療センター 足立 裕美

こんにちは、久里浜医療センターに勤めて1年が過ぎた今年二年目の赤子技師です。ここは風が強い日が多く、海が近いので車や自転車が錆びてしまうのを除けば、景色が良いのはもちろん、夏は涼しく冬は暖かくて住みやすい所です。

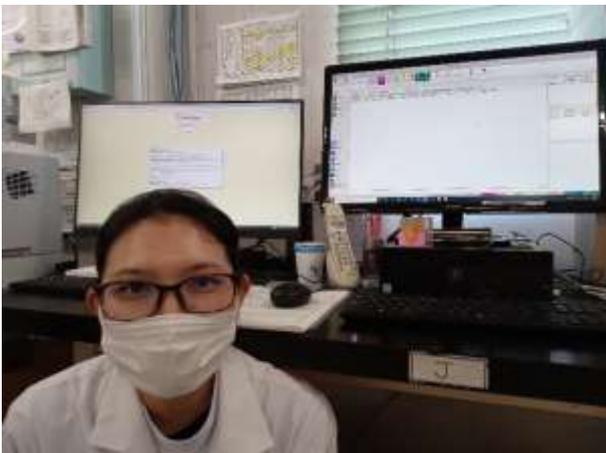
さて当院の施設トピックスですが、大きく三つお伝えしたいことがあります。

一つ目ですが、生理検査室では雨漏りしている所が数か所あり、なんと年々その雨漏り箇所が増えていっています。そろそろ新しくしてほしいところです。しかし良いトピックスもあります。肺機能検査と眼底検査の機器が新しくなったのです。様々な機能が付いており、画質が良くなったことで画像が見やすくなりました。嬉しいですね。

二つ目は検体検査室についてです。5類に変わったコロナウイルス感染症の対応は、コロナウイルス抗原定量検査を入院時及び発熱時に行っていることは変わりませんが、約10年使用した凝固検査の機器が新しくなりました。生理検査室と合わせてNewがいっぱいです。

最後に電子カルテについてです。2022年5月末から稼働した電子カルテですが、最初は手探り状態で病院全体が混乱していました。今では皆さん慣れて落ち着いてきましたが、残念ながらまだまだ課題は残っています。

今年はスムーズに電子カルテが運用でき、またおNewの機器たちと仲良くなれたらと思っています。以上、久里浜医療センターの施設紹介でした。



NHO 箱根病院

NHO 箱根病院 若林 弘

NHO 箱根病院は長い歴史を経て神経筋・難病医療を専門とする病院になりました。進行性筋ジストロフィーなどの筋疾患、筋萎縮性側索硬化症(ALS)・脊髄小脳変性症・パーキンソン病・ハンチントン舞踏病などの神経変性疾患、遺伝性ニューロパチーなどが中心です。これらの疾患は、いまだに根治療法が確立されているわけではなく、患者さんは病との長い戦いを強いられます。そして、その戦いはやがて病を持ちながら人生を生きることに変化していきます。

検査科は4月より新しい仲間が増え、3名体制になりました。

只今、若林技師長と早川技師は熊野主任から業務のレクチャーを受けていますが、業務全部（採血から各測定機器の管理・外注検査処理・発注など、全ての検査に係る業務）が出来るようにしないといけないので、硬い容積の小さな頭な自分には少々難しいです。

我慢強い熊野主任は、何度も聞き返す staff に腹も立てずに教えてくれます。早く仕事覚えないと焦る毎日…。



国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成 06 年 03 月 05 日 施行
平成 17 年 02 月 26 日 一部改訂
平成 20 年 03 月 01 日 一部改訂
平成 21 年 03 月 07 日 一部改訂
平成 22 年 10 月 30 日 一部改訂
平成 24 年 04 月 01 日 一部改訂
平成 27 年 11 月 14 日 一部改訂
令和 02 年 10 月 30 日 一部改訂
令和 03 年 10 月 15 日 一部改訂

(名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局長 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

(職務)

第 8 条 役員職務は次の通りとする。

- (1)会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2)事務局長は、本会の会務を司る。
- (3)会計は、本会の会計を担当する。
- (4)理事は、各会務を担当する。
- (5)会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員を選出)

第 9 条 役員を選出は次の通りとする。

- (1)この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2)この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。

(3)この会の事務局長・会計は、理事会で互選する。

(4)この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設になった場合は理事会の協議により認めることができる。

(役員任期)

第10条 役員任期は、1年とするも再選を妨げない。

(役員補充)

第11条

(1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。

(2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

(1)総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。

(2)理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(3)災害等により集合型の総会が開催できない場合は、状況により書面決議等による総会を開催する事ができる。

(会計)

第13条

(1)この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。

(2)この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。

(3)この会の会計は、総会において会計報告及び会計監査報告をする。

(4)この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

(1)この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。

(2) 行動費として500円支給する。

(付則)

(1)この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。

(2)この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。

順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。

ただし、理事会の協議により変更することができる。

第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。

第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。

理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。

第4条 大規模施設等（相模原、横浜）からは複数名選出することができる。

神奈川県地区会会員名簿

令和5年7月1日現在

● NHO 相模原病院

武山 茂
池田 和典
岩崎 聖二
朝比奈大輔
鈴木 芳明
川口 港
柳 進也
井田 貴明
安田 秀平
瀧澤 光彦
品田 祐希
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
小野 剛司
長浜 優衣
幡野 廣樹
錦織 春菜
田中 敬涼
小林 大暉
水永 ちひろ
下山 夢結
西村 太志
中山 佳苗
村上 夏美
伊藤 大樹
小林 史佳
小林 稜弥
山口 洋輝

● NHO 横浜医療センター

吉田 茂久
濱田 靖
磯 敬
竹内 智也
幡井 美由紀
木村 元紀
小林 真二
外川 靖士
内海 雅文
呉屋 薫
藤原 由貴乃
野中 照美
佐久間みゆき
山口 有希
畠山 奈帆子
高橋 千尋
中井 敦子
秋山 卓思
宮川 真名実
新本 恵理香
大森 衣里子
高橋 美樹
森 真衣子
良井 亜美
安中 美華
江崎 美穂

● NHO 神奈川病院

瀬戸 茂誉
谷岡 健作
青木 正哉
中野 和明
大木 仁
松島 麻衣子
加山 新菜
金子 勇

● NHO 久里浜医療センター

樋口 晶子
屋代 達
水野 正浩
近藤 南
足立 裕美

● NHO 箱根病院

若林 弘
熊野 寿世
早川 真奈美

神奈川地区会報誌 第72号

発行：若林 弘
編集：濱田 靖
屋代 達
大木 仁
瀧澤 光彦
幡野 廣樹
高橋 美樹